

【高齢者虐待チェックリスト】

* 東京都高齢者虐待対応マニュアルを一部改変

虐待が疑われる場合の「サイン」として、以下のものがあります。複数のものにあてはまると疑いの度合いはより濃くなっていきます。ただしこれらはあくまで例示ですので、この他にも様々な「サイン」があることを認識しておいてください。

【身体的虐待のサイン】

チェック	サイン例
	身体に小さなキズが頻繁にみられる。
	大腿の内側や上腕部の内側、背中等にキズやみみずばれがみられる。
	回復状態が様々な段階のキズ、あざ等がある。
	頭・顔・頭皮等にキズがある。
	臀部や手のひら、背中等に火傷や火傷跡がある。
	急におびえたり、恐ろしがったりする。
	「怖いから家にいたくない」等の訴えがある。
	キズやあざの説明のつじつまが合わない。
	主治医や保健、福祉の担当者に話す事や援助を受けることに躊躇する。
	主治医や保健、福祉の担当者に話す内容が変化し、つじつまがあわない。

【心理的虐待のサイン】

チェック	サイン例
	かきむしり、噛み付き、ゆすり等がみられる。
	不規則な睡眠(悪夢、眠る事への恐怖、過度の睡眠等)を訴える。
	身体を萎縮させる。
	おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどの症状がみられる。
	食欲の変化が激しく、摂食障害(過食、拒否)がみられる。
	自傷行為がみられる。
	無気力、あきらめ、投げやりな様子になる。
	体重が不自然に増えたり、減ったりする。

【性的虐待のサイン】

チェック	サイン例
	不自然な歩行や座位を保つ事が困難になる。
	肛門や性器からの出血やキズがみられる。
	生殖器の痛み、かゆみを訴える。
	急に怯えたり、恐ろしがったりする。
	ひと目を避けるようになり、多くの時間を一人で過ごすことが増える。
	主治医や保健、福祉の担当者に話す事や援助を受けることに躊躇する。
	睡眠障害がある。
	通常的生活行動に不自然な変化がみられる。

【経済的虐待のサイン】

チェック	サイン例
	年金や財産収入等があることは明白なのにもかかわらず、お金がないと訴える。
	自由に使えるお金がないと訴える。
	経済的に困っていないのに、利用者負担のあるサービスを利用したがない。
	お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払ができない。
	資産の保有状況と衣食住等生活状況との落差が激しくなる。
	預貯金が知らないうちに引き出された、通帳をとられたと訴える。

【ネグレクトのサイン】（自己放任も含む）

チェック	サイン例
	居住部屋、住居が極めて非衛生的になっている、また異臭を放っている。
	部屋に衣類やオムツ等が散乱している。
	寝具や衣服が汚れたままの場合が多くなる。
	汚れたままの下着を身に着けるようになる。
	かなりの褥瘡(じょくそう)ができています。
	身体からかなりの異臭がするようになってきている。
	適度な食事を準備されていない。
	不自然に空腹を訴える場合が増えてきている。
	栄養失調の状態にある。
	疾患の症状が明白にもかかわらず、医師の診療を受けていない。

【セルフネグレクト(自己放任)のサイン】

チェック	サイン例
	昼間でも雨戸が閉まっている。
	電気、ガス、水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃等の支払いを滞納している。
	配食サービス等の食事が摂られていない。
	薬や届けた者が放置されている。
	物事や自分の周囲に関して、極度に無関心になる。
	何を聞いても「いいよ、いいよ」と言って遠慮をし、あきらめの態度がみられる。
	室内や住居の外にゴミが溢れていたり、異臭がしたり、虫が湧いている状態である。

【養護者の態度に見られるサイン】

チェック	サイン例
	高齢者に対して冷淡な態度や無関心さがみられる。
	高齢者の世話や介護に対する拒否的な発言がしばしばみられる。
	他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがみられる。
	高齢者の健康や疾患に関心がなく、医師への受診や入院の勧めを拒否する。
	高齢者に対して過度に乱暴な口の聞き方をする。
	経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金お掛けようとしない。
	保健、福祉の担当者と会うのを嫌うようになる。

【地域からのサイン】

チェック	サイン例
	自宅から高齢者や介護者、家族の怒鳴り声や悲鳴・うめき声・物が投げられる音が聞こえる。
	庭や家屋の手入れがされていない、または放置の様相(草が生い茂る、壁のペンキが剥れている、ゴミが捨てられている)を示している。
	郵便受けや玄関先等が、1週間前の手紙や新聞で一杯になっていたり、電気メーターが回っていない。
	気候や天気が悪くても、高齢者が長時間屋外にいる姿がしばしばみられる。
	家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパー等でひとり分の弁当を頻繁に買っている。
	近所付き合いがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられる。
	高齢者が道路に座り込んでいたり、徘徊している姿がみられる。
	外出しなくなった、見かけなくなった。